

令和4年度事業 効果検証 結果

委員数：9名

1 事業ごとの評価

①～⑪の事業ごとにA B Cのどれか一つに○をつけてください。

- A 地域の実情、課題に対して効果的・効率的な活用であった
B 地域の実情、課題に対して概ね、効果的・効率的な活用であった
C 地域の実情、課題に対して効果的・効率的な活用であったとは言えない

- ① 白石町特産物P R事業
- ② デジタル業務効率化支援事業
- ③ スマイルしろいし商品券給付事業
- ④ 新生児子育て応援特別給付金
- ⑤ 白石町米価下落対応次期作支援事業
- ⑥ ふくどみマイランド公園整備事業
- ⑦ ゆうあい図書館運営費
- ⑧ 保育園給食材料費等高騰対策費
- ⑨ 学校給食材料費等高騰対策費
- ⑩ 白石町医療・介護・障害福祉事業者等物価高騰応援金
- ⑪ 物価高騰等に伴う水道料金特別減免事業
- ⑫ 肥料価格高騰対策事業
- ⑬ 資材価格高騰支援事業（共乾再編）
- ⑭ 白石町中小事業者エネルギー価格高騰対策支援金
- ⑮ 海苔養殖燃油価格高騰対策事業
- ⑯ しろいしいこカーまるっとフリーDAY

A	B	C
3	5	1
6	2	1
9	0	0
5	4	0
5	4	0
5	4	0
2	6	1
8	1	0
9	0	0
7	2	0
8	1	0
6	3	0
8	1	0
2	7	0
6	3	0
0	6	3

↓ 裏面続く

2 総合的な評価

A B C のどれか一つに○をつけてください。また、記入例を参考に、自由意見をご記入ください。

- A 地域の実情、課題に対して効果的・効率的な活用であった
- B 地域の実情、課題に対して概ね、効果的・効率的な活用であった
- C 地域の実情、課題に対して効果的・効率的な活用であったとは言えない

計
5
4
0

・意見

- ・物価高騰の影響はあらゆる産業に影響を及ぼしており、給付や補助を行うことで影響の軽減につながったと思われる。
- ・物価高騰の影響は一過性ではないため、長期的に効果が期待できる事業の発案を期待したい。
- ・効果が定量的に測定できる成果目標の設定が必要だと思われる。
- ・新生児への10万円給付については、出生率の向上にはつながったと思われるが、直接的に物価高騰との関連性が薄いように感じた。
- ・高齢者福祉関連の事業がなかったようなので、物価高騰の影響が把握されていないのではないのか。
- ・検証に際して定量で回答できるものは定量で回答を希望する。
- ・感染症による様々な打撃に対して幅広く活用されたと評価します。
- ・物価高騰も重なってのアフターコロナの中、町の魅力をPRすることは大変有意義だと思います。特産物に限らず、居住や就労、観光等々情報発信の充実に向け活用されることを期待します。
- ・事業評価について、数値評価が必要だと思います（または5段階評価も）。
- ・成果目標が実行目標になっている。補助金による経済向上成果目標にすべきと思います。
- ・物価高騰は農業、水産業者にとって大きな痛手となったため、高騰に対する支援は継続していくうえで一助となった。
スマイルしろいし商品券給付事業は、消費意欲を向上させる効果があったと思いますが、利用に関するPRが必要と感じた。